2020 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松小学校

採択活動名

知床学（海洋教育）海に親しみ、海と人との関わりを学ぼう

実施単元　※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1.　めざせ　いきものはかせ	第１学年	知床学
2.　めざせ　いきものはかせ	第２学年	知床学
3.　ふるさと探検隊	第３学年	知床学
4.　羅臼の魅力再発見！	第４学年	知床学
5.　自然とともに生きる	第５学年	知床学
6.　自分の考えを発信しよう	第６学年	知床学

取り組みの概要

本取組では、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含め豊かな自然に囲まれた環境のもと、地域の一員として、豊かな自然の大切さを、実感を伴って理解するとともに、ふるさとに対しての誇りと愛着を育むことをねらいとした。指導に当たっては、「知床学（海洋教育)」として、自然や産業などの豊かな教育資源を活用し、他教科等と関連付けた教科等横断的な教育課程を編成し、進めることとした。

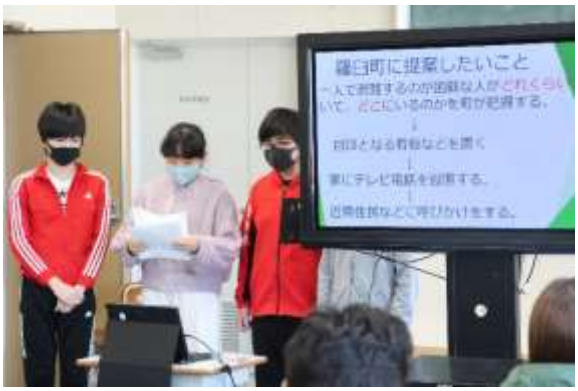
【第１・２学年　前浜での生き物探し】

第１・２学年は、生活科と関連付けながら「めざせいきものはかせ」として羅臼町郷土資料館周辺の前庭や裏山、前浜を活動場所に、実際に川に入って生き物を探したり、虫を捕まえたりするなどの活動を通して、地域の自然に親しみをもつとともに、海や川の生き物などとの触れあいを通して、生命の大切さを学ぶ活動を行った。学習を終えた児童からは「身近な川には、たくさんの生き物がいた」、「他にどのような生物がいるのかもっと知りたいので、探してみたい」などの声が聞かれた。

【第３学年　市場見学】

第３学年は、社会科と関連付けながら市場や水産加工場見学を行い、実際に働いている人にインタビューするなどして、水産資源や自然環境を守りながら経済活動を続けている地域の産業について学習した。学習を終えた児童からは「毎日漁に出ている家族の大変さがよく分かった」、「貴重な羅臼の自然を守ることと漁業を営むことのどちらも大切であることが分かった」などの声が聞かれた。

第４学年は、知床の自然や動物と自分たちの暮らしの関係性について、自らテーマを設定し、本やインターネット等で調べたことを基に、パンフレットにまとめ、保護者に発表した。発表会に参加した保護者からは、「動物と共存することについて、よく調べられている」、「羅臼の自然の豊かさについて、改めて気付かされた」などの声が聞かれた。



【第６学年　まちづくり企画提案会】

第５学年は、世界自然遺産に住む児童が「自然豊かな羅臼」の価値について考え、それを守り維持する重要性について学ぶため、「知床財団」の協力を得てヒグマの生態や熊に遭遇した時の対処方法、熊が生息する自然環境について学習した。また、羅臼町の自然を守るために自分たちにできることを考え、意見文に書き、発表した。児童からは「野生動物をむやみに刺激しないこと」、「野生動物にえさを与えたりしないこと」、「ごみの分別をしっかり行うこと」などの意見が出され、ヒグマと共存するための生活の仕方について考えを深めることができた。

第６学年は、これまで知床学（海洋教育）を通して学んだ、羅臼町の自然、文化、観光、水産業等の「羅臼の魅力」を活かし、よりよいまちづくりのための企画を考え、羅臼町役場職員や自然環境関連の関係者を対象とした、「小学生によるまちづくり企画提案会」を実施した。児童からは「羅臼町を津波から守るための方法」や「羅臼町の魅力をウェブで配信する」などの企画が提案され、参加者から「意見の一つ一つが明確な根拠があり、とても参考になった」、「子どもたちが羅臼町の未来を考えている姿が素晴らしいと感じた」などの声が聞かれた。

関係機関等の協力の下、児童の体験活動の充実を図ったことにより、地域の一員として、豊かな自然の大切さを、実感を伴って理解するとともに、ふるさとに対しての誇りと愛着を育むことができた。